



研修助成賞

<演劇>

げき だん

劇団すぎのこ

- 昭和39年8月1日 TV人形劇「チロリン村とくるみの木」他で活躍してきた故小澤明は、テレビでは得られぬナマの舞台の感動をとおして、子ども達に夢と希望を届けようと東京都足立区に「劇団杉の子」を創立
- 昭和42年
昭和49年 その後、小澤幸雄が参加し、幼稚園・保育園全国巡回公演のシステムの基礎をつくり、全国幼稚園保育園巡回公演を展開
巡回公演の傍ら、保育者・教育者のための人形劇講習会活動を始める
劇団員が子どもを知り理解するための活動「杉の子子ども会」を発足させ、「杉の子冒険隊」と命名し、昭和54年には「わんぱくクラブ」と改称し、子どもの野外文化活動を展開、人形劇指導書、保育者のための「人形劇じゃない人形劇」を出版
- 昭和50年
昭和51年 季刊紙「すぎのこ」創刊号発刊、現在迄に117号発刊
第1回海外公演「昭和天皇皇后両陛下渡米記念・日米協力慈善事業ハワイ公演」参加以後中国・韓国・モンゴルなどアジアを中心に、現在までに10回の海外公演を実施
- 昭和54年 ウニマ(国際人形劇連盟)日本センター主催、アジア太平洋国際人形劇祭展に招待劇団として参加
- 昭和56年 第1回招聘公演、ソウル・アンサンブル(韓国)枕雨晟氏招聘、以後中国・韓国、ベトナムなどアジアを中心とした芸術団を、現在までに13回招聘、「すぎのこ舞台音楽集」音楽カセットを制作
- 昭和59年
昭和61年
昭和62年
昭和63年
平成元年 劇団創立者初代理事長故小澤明逝去、小澤幸雄が2代目理事長に就任
群馬県嬭恋村に「すぎのこ嬭恋研修センター”すぎのこ山荘”」を建設
群馬県嬭恋村に「すぎのこ嬭恋研修センター”わんぱく村”(野外施設)」が完成
ウニマ世界大会”世界人形劇フェスティバル”に招待劇団として参加
劇団すぎのこ創立25周年記念事業として中国・韓国・タイ・フィリピン・シンガポールの子どものを招き6カ国で「子どもの子どもによる子どものための国際文化交流PART1”国際わんぱくクラブ’89嬭恋”」を開催、子どものための国際文化交流はこれまで12回開催
- 平成14年 「すぎのこ飯能研修センター」を建設
- 平成18年 影絵紙芝居指導DVDを制作し「影絵紙芝居の作り方」講習会を展開

『劇団すぎのこ』は、昭和55年5月文部省(現文部科学省)より公益法人に認可され、全国巡回公演は、創設以来46年間で、73,616回 観客動員数7,246,695名、1年間の平均公演回数1,600回、平均観客動員数157,000余名へ、感動を届け、関連事業を含め、活動している

《贈賞理由》

昭和39年に設立以来「どの子にもナマの舞台の感動を」の思いから、人形劇を保育園・幼稚園・福祉施設等全国を巡回公演し、今までに74,600余回(年平均1,600余回)、734万人の子供たちの感動を届けました。人形を人形劇のみならず生活指導や言語指導などにも活用され、普及浸透させる役割を果たしたことは高く評価されます。